

はち博だより

令和7年9月25日発行 No.3 八幡平市博物館

八幡平市博物館
ホームページ



予告 令和7年度企画展「木地師 金作さんの椀づくり～八幡平市の木地製作の技～」

本市安代地区を流れる安比川上流域では、漆器生産に関する生業として、漆器の木地を作る木地師が多く住んでいました。

本館が所蔵する県指定有形民俗文化財「安比川上流域の木地師関係資料」の木地製作に関連する道具は、藤村金作さん（1912-2002）という一人の木地師が使用した資料で、生地作りの工程がわかる貴重な資料です。これらの資料を中心に、本市で行われていた木地作りにスポットを当てた企画展を開催します。

■期 間／令和7年10月7日(火)～令和7年12月7日(日)

■会 場／八幡平市博物館体験ホール



ろくろで木地を挽く藤村金作さん

事業報告 昔の道具！どう使うの？～懐かしい道具を展示しました

6月3日(火)から8月24日(日)まで「昔の道具のなぞなぞ展」を開催しました。主に昭和時代の暮らしの中で使われた「唐箕(とうみ)」「千歯こき」などの農民具や、「炭火アイロン」などの生活道具、計53点を展示し、使い方やエピソードをパネルで紹介したほか、実際に道具に触れてみる体験コーナーや、めんこ・フラフープの遊びコーナーを設けました。「懐かしい、昔使った」と話が弾む家族連れや、大学の授業の一環で訪れた中国、タイ出身の学生など外国人の来館もあり、期間中485人が先人の生活や知恵と工夫に触れました。

また、道具の使い方や素材を回答する「昔の道具なぞなぞクイズ」には延べ288人が挑戦、18問のなぞ解きをし、参加者には当館オリジナルキラキラめんこを進呈しました。



体験コーナー (6/29)



めんこに挑戦 (6/14)



石臼そば粉引き体験 (8/9)



家族でなぞなぞに挑戦 (8/11)



クイズ参加賞の
キラキラめんこ。

8月19日(火)～24日(日)の6日間、お茶の水女子大学4年小山田美冬さん(安代中卒業)の博物館実習受け入れを行いました。

小山田さんは首都圏の博物館ではなく、あえて本館を選び、学芸員の実務経験を重ねながら、地方の小さな施設ならではの実情や課題、地域とのかかわりや、将来性などを考察し、実習報告にまとめられました。

将来は学芸員として研究の道に進む予定とのこと。

今後の活躍を期待しています。



博物館
実習



西根一中職場体験 (9/4)



満開の花壇 (9/10)



塗室の煙煙 (9/10)



入り口付近に
埴輪がかくれんぼ中 (9/14)

八幡平市博物館

Hachimantai City Museum

お問い合わせ

電話 0195-63-1122 FAX 0195-63-1123

〒028-7533 岩手県八幡平市叭田 230

E-mail: hakubutsukan@city.hachimantai.lg.jp